

2008 とちぎソーシャルワーク共同事務所  
公開セミナー・とちぎソーシャルワーク学会

福祉サービス従事者の労働環境

—仕事の専門性と可能性を考える—

1 趣 旨

現在、私たち福祉サービス従事者のさまざまな要因で労働環境が悪化している現状から、福祉職の可能性をどこに見て、利用者の福祉のために何をすべきか考え、専門家として今すべきことはなにかを明らかにすることを目的としています。

無論この問題の解決は「政策転換なくして改善なし」なのは明白です。その上で福祉職の専門性や連携を追求していくことが利用者の福祉にいかにつながるか、真剣に振り返らなければならない時期にきているのではないのでしょうか。

確かに介護報酬の切り下げ、年金支給の額や開始年齢の変更、医師不足の顕在化など、近年マスコミに取り上げられることが増加したこともあり、広く世間に知られることとなりました。「介護職五年目で年収200万円」「人手不足が過酷な労働をさらに悪化させている」など、けっして精神論だけでは乗り切ることができないこの状況で、専門性を見つめなおし現場から発信することが大切でしょう。

福祉の専門性を社会に認知されるために、福祉関係者は具体的にどのような活動ができるか皆さんとともに検討していきましょう。

記

2 日 時 平成21年2月14日(土) 13:30から16:30まで

3 場 所 とちぎ福祉プラザ 3F 福祉研修室AB

4 内 容 (時間は変更の可能性あります)

① パネルディスカッション (13:30から15:00)

コーディネーター 山崎 順子 氏 (国際医療福祉大学 医療福祉学科 教授)

パネラー

医療社会事業協会

ホームヘルパー協会

社会福祉士会

介護福祉士会

ソーシャルワーカー協会

から各1名 現場で働く会員

② 研究・実践報告（15：15 から 16：30）

1 立川 正史 氏（社会福祉士会 県央地域ブロック長）  
「職場から離れたグループ活動の意義について」

2 柏木 聖子 氏（ソーシャルワーカー協会）  
「コーチングの実践から見える福祉の仕事に関する問題」

5 参加費 会員 500円 非会員1000円  
※会員とは、5団体会員のことです。詳しくは申し込み用紙参照下さい。

6 定員 100名（定員になり次第締め切ります）

7 申し込み期限

平成21年2月6日（金）到着にてお願いいたします。

8 申し込み方法

別添申込書により、郵送またはFAXにて下記までお申し込みください。

9 申し込み先

とちぎソーシャルワーク共同事務所

宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

TEL 028-600-1725 FAX 028-600-1730